



長野縣下伊那郡竜岡村三丁目番
編輯 前澤 五雄
印刷 前澤 五雄
發行所 竜岡 青年會
代表者 前島 正三
長野縣下伊那郡竜岡村三丁目番
龍共社印刷所

論壇

盧溝橋の銃聲遂に日支事變
となり冀察政府、維新政府が
生れ北支今や明朗たり。
然しながら未だ中國政府は我
が眞意を解せず聖戰に、に歳
餘 今後なほ相當長期にわた
るべき非常時局を如何して乗
り切るかは國民各位外交に經
濟に思想にあらゆる戰つて行
かねばならぬ覺悟が必要なり
ここに經濟、思想方面に於い
ては一番吾々に關係の有るこ
こは今更云云すべきではない
今後なほ相當長期にわたる
べき非常時局を凌ぎきるに
は出来るだけ吾々の生活を引
しめ、きりつめなければなら
ぬといふ譯で最近簡素生活に
言ふ言葉が生れて非常時生活
様式の一つのモットーとして
盛んに言ひはやされてゐる、
これを實行に移すべく、
これと呼ばれてゐるが、要は
感覺亂舞の享樂氣分を精算す
るに共に衣食住一切のこらす
無駄、贅澤、華美を戒めなけ
ればならぬ。

ひらがつて近時叫ばれてゐる
國民精神は皇統連綿としてつ
ながる神ながらの道こそ、我
が國に未曾有の非常時に對し
ても動ぜざる所の我が國民性
の外國に誘ふ由縁なり、しか
しながら一度思想戦にうつり
なば今赤きソ聯又現に染まり
つゝ、有る支那の現状を見た時
、襟元の寒くなるのを感じる
であらう。
歐洲大戰の時ドイツ軍が第一
線に立ちて次第に戦果をおさ
めつゝ、ある時國內に於ても盛
んに思想戦が行はれてゐたの
であつたとして思想戦に敗れ
た時に大戰が終つたのである
吾々は歐洲大戰當時行はれた
あらゆる、手段を研究して、
しつかり腹帯を旨めて、おく
必要があらう。
今後日本に向つて相當シ烈な
るものがあらうといふことを
考へて今から特に覺悟しなく
てはならないだらう。

銃後の護り 獻金に
貯蓄報國に生きん

賀 壽 雄 生

時局重大今茲に自分が言を
新たにしなくとも誰人の脳裡
にも強く印象付けられて居る
一年有余の聖戰期間中有り
う。亦此れが動因となりて起
こりつゝ、有る問題、即ち生活
の改善で有り。貯蓄報國で有
り廢品更生で有り、其れに伴
ふ今後の問題で有る。
先般中野正剛氏はラヂオ放送
にて「正義人道と東洋平和の
爲めならばたゞ二拾年三
拾年の日時を費そうとも斷呼
びして起ち此の目的を遂行す
る、此の爲には如何なる國家
を云へども敢て辭せない」と
長期抗戰の意味を覺悟を表明
し、正義に強い大和民族とし
ての眞の麗はしき代辯をして
居る。
長期抗戰の庭に起つても起
たぬも擧國一致、何時果つる
銃後の守りを貯蓄にするに共

此の不安を一掃せめて居る
「奢る平家は久しからず」此う
した古諺にも有る如く、生活
の向上を防ぎ勤儉なる生活を
旨とし國力の増進をはかり一
線に在る我が將兵も同様な
苦衷を銃後國民にしても味
一錢の余剰金は一銃丸となる
と言ふ信念を以つて無駄無き
生活方針を定め幾分なりとも
余剰金を産むべく定められた
のが貯蓄の勵行で有り
國策で有る尚ほ此の生活を
生かし此の主旨に協力賛同す
るのが國民としての義務で有
る。
時局好調に依りて得らるゝ勞
働収益は多少なりとも益し諸
物價高きは謂へども勤儉勵行
に留意した生活を営めばたゞ
へ下級の生活者云々へも僅
少の貯蓄は得らるゝ事と信す
る、其の他心して街頭を歩み
住宅に留意すれば鐵道古綿
類等再生品として御奉公に供
すべき貴重品廢物が、此處彼
處に散亂し地にくさ果て、居
る、金總動員賛同者の少なき

近代の戦争は武力戦に併行
スパイ戦

近代の戦争は武力戦に併行
して思想戦、産業經濟戰、外
交戰等が綜合された國家總動
員戰となつて行はるのであ
つて、單に武力戦だけでは
勝利を制することは困難で最
後の勝利に充實せる戰爭遂行
力を長期に亘つて遺憾なく發
揮し得る國にして初めて得ら
れるのであります。
今や各國は戦はんぞ欲すれば
先づ相手國の軍備國力を調査
して一朝有事の際には武力に
よつて敵を制するばかりで
なく、銃後の國民に精神的物
質的打撃を與へて戰爭の遂行
を不可能ならしめ、戰意を放
棄せしめるため凡ゆる手段を
講ずるのが近代戰でありませ
ん。
凡そ一國の國力が充實し國際
的地位が向上すればする程他
國のスパイ活動の目標となる
のが當然で、我が國が滿洲事
變以來異常なる國力の躍進に
伴ひ世界注視の的となり、今
亦暴支應懲の聖戰中の我が國
に對しては、諸外國は凡防ち
ヨ機關を動員してスパイ軍の
十字砲火を浴せつゝ、あること
を忘れてはならないのであり
ます。
人を見たら盗人と思へ云ふ
格言があるがそれは昔のこゝ
で今は人を見たらスパイと思
へ云ふ程吾々の日常生活の
凡ゆる方面にチヨ報の目的と
なるものが多數あるといふ實
に油斷のならぬ状態になつて
ゐますから國民一人々々の自
覺と協力に拵たなければなら
ぬ今こそ我々國民はスパイに
對する認識を新にしスパイ防
衛は全國民の責任であること

支那事變國債を
買ひませう

忠勇なる皇軍日夜の奮闘努
力其の赫々たる戦果に對し
ては唯々感謝と感激の外はあ
りませぬ。
然して聖戰目的達成の爲には
今後尙相當長期に亘り交戦が
續けられること、思はれます
之に伴ふ戰費の多額に上るこ
とは申すまでもありません。
銃後を護る我々は擧つて支那
事變國債を買つて戰費調達に
遺憾なきを期せねばならぬこ
と信じます。
明八月二拾三日より郵便局で
賣出す國債は百圓券が九拾八
圓の割で二拾九圓、五拾圓、
百圓、五百圓、千圓、の五種
を今度新に「支那事變特別國
庫債券」拾圓券を賣出すそう
です。 利廻りも年三分六厘
八毛で、この國債を都合で現
金に換へ度い時は何時でも郵
便局で買上げて呉れ又安全に
保管して貰ふ時にもこの國債
に限り保管料も特に低廉の由
ですから奮つて應募せらるゝ
やうお奨めします。

双 双 劍

聖戰に一年三月餘長期
抗戰の心構へ益々堅し

此の心持でこそまでも艱難
辛苦の覺悟で行かすぜ
遠く戦地に働く兵隊さんを
思はれ此の暑さ何のその
秋立ちて内地を狼ひし颯風
も去り銃後内地はその暴威を
免れり
静かなる秋は迎へたがカラ
リと晴れて又々夏が来るソウ
な
「言ふまいと思へ今日日の暑
さかな」ミヨウ言つたもんだ
りませぬ
ガガしかし今日此頃の涼し
さはさうだ
夏は當りでホクだが米
作はお百姓サン一喜一憂さ
秋蠶に最後の努力を拂はん
全桑園を肅ま化せ
をモットーにオカイコ先生の
大童
天龍社工場建設中止にハリ
キリし氣もおちてがつかり
國民体位向上をモットーに
港にラヂオ体操の會生る
その後の成績は如何です銀
座通ヨ いたすらに龍頭吐尾
に終らしめなさんな

暑中御伺申上候

出征軍人諸士より

暑さ甚だしき候各種園休會... 暑中御伺申上候

暑中伺ひ

満洲移民諸君より

新地開拓業務に没頭し... 暑中伺ひ

暑中お見舞

申上ます

炎熱下に使命貫徹に邁進致... 暑中お見舞

滿洲開拓青少年義勇軍

關に依り大部分はおさまり今... 暑中伺ひ

納税報國... 暑中伺ひ

納税報國

本村八月の納税は

納税報國... 暑中伺ひ

ラヂオ体操の會

今回國民休位向上をモット... ラヂオ体操の會

終始一貫よく終りまで多数... 盆休みを利用して

盆休みを利用して

三日間の休を無にするまい... 盆休みを利用して

聯合會合同工場

延期に決る

本村時又大座地籍に建設予... 聯合會合同工場

局たより

今次の國民貯蓄獎勵施設... 局たより

貯蓄獎勵運動

信用組合貯金

昨年七月蘆溝橋に端を發し... 信用組合貯金

防空訓練

今秋舉行

東部防衛司令部管下の一府... 防空訓練

聯合會石灰育

本村石灰育指導は蠶作の... 聯合會石灰育

役員異動

七月九日通常總會に於て... 役員異動

役場より

獻納品結果

日支事變一週年を記念して... 役場より



新設修理は放送局ラヂオ技術受講者の... ラヂオの

時代の寵兒

新生に高級ヘーゲル萬年筆... 時代の寵兒

銃後の護りは先づ健康から... 銃後の護り

最上肉大勉強します！... 最上肉大勉強

内閣情報部編輯... 週報

野菜種物店を... 伊原商店

滿洲農業移民地

視察よりかへりて

視察團長代田市郎氏一行四十名の視察報告記

一、農業移民の本質

一體政府や府縣や或はそれらの諸機關が、多大なる努力を拂つてゐる。この移民事業の本質は、この移住のありか。普通の場合これは「内地の人口が過剰だから満洲へ行くより仕方がない」と云ふのが常識である。然し移住してゆく人にとっては人口問題の解決が云ふ様な理論的な問題よりも「自分の生活が詰つたから」と云ふ事である。それが今度僕達が歩いてみたり、滿洲の國長の話をきいたり、且つ現地の實際の生活を觀て感じた事はこの所謂理論的要素が、くだけて云へば「出て行く際の腹の据え加減」が極めて重大なる要素を移民問題に於て形成してゐる。即ちこの移民の本質は内地の人口問題の解決も勿論であるが、滿洲國建設の精神的要素を完全に結びつく所にある。

二、人的要素

人的要素云ふ場合移民團員自身に就いては前記の問題即ち若し肉體の滿洲國建設の理想を兼ね備へたるの士が、人的要素になる譯である。團員に就いて云へば所謂「指導的中心人物」を指すのである。

地主と小作人、富者と貧者、何百年の復讐な歴史を呼喚した故郷の山河を捨て、一度滿洲の未墾の平野に移住すれば其處には汚れない眞新しい處女地が展開される。建る一つの住宅、耕やす一握りの土まで指導者の息がかつてゐる。ましてやその勞働の方針、將來の計畫の樹立等々移民團員全体の生きてゆく方針を決定するに指導者の息のか、らぬ筈がない。

移民團は正しくその出發點から歴史の一頁を記録するのだこの重大なる意義を有し且つ責任を有する指導者が若し「人物でない」としたならば團員は百年の不作にあつた様なものである。何故ならその樹立する計畫の「つづき」が血ともなり又肉ともなるのだからである。斯う云ふ

ら……政府或は府縣の移民機關はこの指導者の選任、養成に就いて最大限の關心を拂はなければならぬ。之は入殖後の建設計畫が進行するにつれてその重大性を増してゆくであらう。以上は現地に就いての感じであるが移民を送り出す内地の諸機關に就いても、この言葉はその儘あてはまるのではないかと思ふ。移民機關の關係者は現地の實情を認識し、現地の指導者も一體となつて上級機關ともよく連絡協議し、この移民事業を國策の線に沿はしむるに同時に、生きた人間を取扱ふ所の精魂の籠つた仕事である云ふ理解の上に立つ事が絶対的に必要である事を痛感した譯である。

三、移民團經營の種々相
之は間接には前記の人的要素と關聯を持つ譯である。即ちその指導者の方針によつて種々なる相を示す處の移民團經營の實際に就いて若干の考察を試みたい。

第一、彌策村は極めて素朴的な方針の上に立つてゐる。彼らは資本主義を持つ諸特質即ちその階級關係を自らの周圍に再現せしめない。少くも避け得られるだけそれを避け様とする方針を隨所に示してゐる。

第二、二次振擲に於ては極めて自由主義的な傾向が觀取される。茲では滿洲に余剰地を小作せしめる事も許してゐるし又移民團經營の理想として「日本人だけの村を建設するのはウソである。滿洲と共に住み滿洲を指導教化す之を亞細亞の盟主としての條件なり」と云ふことは宣言してゐる。

第三、宗廟は宣言してゐる。斯る諸特質は單に一次二次に於て限つたものではなく移民團のそれ、に固有なものである。又拓務省移民團は共同的諸施設の完備に先ずもつて全力を傾注してゐるし、自由移民團に於ては個人經濟が先行する傾向を持つが如くである。汚れない處女地、未墾の天地を開拓してゆくこの創造

的移民團は以上の諸特質をその人的要素の關聯に於て表現しつゝ、進行するが、之に對する批判は早計に失するし且つ百萬戸五千萬人の移住の政府の大計劃の前に、之らの種々相は大海の中の小波の如きもの云ふべきであらう。只我々はその傾向が何れにもあれ力こそ熱意を有する立派な指導的人物を要求するのみ、尙この他入殖地をあらかじめ知る事が出来れば、云ふのは相當強い意見であるが之は無理な要求かも知れない。入殖地の移民團經營に及ぼす影響の重大さは茲で云ふまでもない事であるが、それだけに我々は懸念たりて何らかの方法で相當額の資金を作り有望な耕地を大量に買収し置く事が出来れば、非常に結構な事であると思ふ。

ある。移住者はその最初の出發點から正しい認識を持たねばならぬが、それに就いてはこの移住の獎勵者も現地の實相はなるべく正直に話すべき云々方針を取りたい。蓋し我が郡の如く大規模なる移民集團を送り出す土地にあつては、その取扱ひは極めて重大であるから！

中略
中略只今は徐州より少し後方の〇〇地にて鐵道及び此の地の警備又敗殘兵の討伐に勤めて居ります。

中略
中略只今は徐州より少し後方の〇〇地にて鐵道及び此の地の警備又敗殘兵の討伐に勤めて居ります。

中略
中略只今は徐州より少し後方の〇〇地にて鐵道及び此の地の警備又敗殘兵の討伐に勤めて居ります。

中略
中略只今は徐州より少し後方の〇〇地にて鐵道及び此の地の警備又敗殘兵の討伐に勤めて居ります。

仲々暑くありますが此頃は大部分暑さにも馴れて來ました。七月末金〇圓を送金致して置きました。何か村のお役に立てば私の幸ひも存する次第です。

小學校宛に

原 龍 雄 君

拜啓其後以外な御無沙汰を致しました。

皆々様には益々國家總動員の銃後健康の事遠慮致しませんが、降つて小生等御蔭様を以つて益々壯健にて軍務に勉勵致して居りますから他事乍ら御安心下さい。

さて此の度俸給の幾分かを剩つて誠に微少なれども金〇圓爲替を送り致しましたが、銃後教育費の一端にもお加へ下されば誠に私共の幸甚の至り存じます。

目に砲火、耳に銃聲、背囊枕で得た金役場では銃後資金に軍人分會はそれぞれ靈前へ學校では大國旗を作製したはずである。

此の寄篤な好意に交付された當局はもろろん村民一般に感謝されて居る。

役場宛に

今村 惠一 君

暑中お伺ひ申上けます

大變にお暑くなりました其後御無沙汰致して誠に申譯も有りません。村長様始め役場吏員皆々様益々御壯健に日夜職務に御精進の事推察申上げます、小生出征以來滿一ヶ年幸に銃後の皆々様の熱誠なる誠心にて神佛の護りによりまして無事軍務に勤め居る故へ他事乍ら御安心下さい。

中略

當地七月始めより晴天続きで

竜丘軍人會時又班

祈願と慰問の旅

七月拾七日正午時又驛集合一行拾八名。伊那電にて祈願と慰問の旅に上る途中、中澤村の水害甚く提防欠儀何拾町歩の上田の中央に天龍川奔流し所々稲の殘骸桑株を流して居たのは憐れ催し復日の一日も早からん事を願ひつゝ辰野に着す上諏訪の汽車で

村長各位に宜敷の傳言でした。〇〇〇中を見學して一同淺間の湯にて旅塵を洗ひ七時の汽車で軍都を辭し一路歸村拾時五拾八分時又一行無事祈願慰問の旅を終へる。



Figure 1: A small illustration of a person, possibly a soldier or a traveler, standing in a landscape.